

社会福祉法人あーす
令和2年度 事業報告

1 理事会・評議員会

第1回理事会 令和2年6月3日

第1回評議員会 令和2年6月19日

第2回理事会 令和3年3月25日

2 地域における公益的な取り組み

下関市社会福祉法人地域公益活動推進協議会に加入し「ふくし生活SOS」相談窓口を事業所に設置、ホームページに掲載する等広報に努めている。

令和2年度 当法人受付件数 0件

3 就労継続支援B型事業所「えのうら福祉工房」運営

所在地 山口県下関市彦島江の浦町二丁目22番7号

利用定員 20名 登録者数 25名

職員体制 10名 管理者・生活支援員 1名

サービス管理責任者 1名

事務員・生活支援員 1名

目標工賃達成指導員 1名

職業指導員 4名

職業指導員・配送員 1名

職業指導員・送迎員 1名

(1) 生産活動

生産活動や就労に必要な知識及び能力の向上のための支援を行った。

・施設内作業：住宅関連機器部品組み立て（長府製作所）

水道メーター分解業務（下関市）

昆布計量・袋詰め（ほんぼ）

コピー業務（江の浦二丁目自治会） など

- ・施設外作業：下関市指定喫煙場所の灰皿清掃
 公共職業安定所・労働基準監督署のトイレ清掃
 草刈り作業・農園作業
 シーモール内ゆうちょ ATM 清掃 など

- ・演芸活動：えのうら一座による落語・小唄の披露
 座長（所長） 利用者 3 名 計 4 名
 R2.11.29 彦島地区まちづくり協議会「彦まちカフェ」

（令和 2 年度 就労支援事業実績）

収入	6,399,948 円（R2.4.1～R3.3.31）
工賃支払総額	5,884,984 円（ " ）
工賃変動積立金	0 円
工賃平均月額	20,744 円

（令和元年度 就労支援事業実績）

収入	6,604,228 円（H31.4.1～R2.3.31）
工賃支払総額	5,985,257 円（ " ）
工賃変動積立金	51,544 円
工賃平均月額	20,084 円

※ 工賃支払総額が前年度を上回らなかった為、工賃変動積立金は計上できなかった。

（2） 生活支援

健康・衛生面の指導や、基本的な社会性（マナー）を身に付けるための支援を行った。また、必要に応じて面談を行い日常生活の様子や悩み事などを聞き、相談・解決に努めた。

（3） 行事・余暇活動

新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの行事を自粛した。

- ・クリスマス会 令和 2 年 12 月 25 日

(4) 健康管理

- ・朝礼時に健康チェック（体温等の記録）を行い、日々の健康状態を把握
- ・季節ごとの衣服の調整・衛生指導、手洗い・はみがき・うがい・手指消毒の励行
- ・健康診断の実施・保護者への報告
- ・インフルエンザ予防接種

(5) 防災・安全

- ・火災訓練 令和2年9月30日・令和3年3月10日
- ・地震避難訓練 令和2年4月16日
- ・業者による消防設備点検 令和2年7月27日・令和3年1月14日
- ・機械警備を業者に委託
- ・オゾン脱臭機によるウイルス除去

(6) 職員研修

各種研修・会議に参加することにより職員としての資質向上、支援技術のスキルアップに努め、利用者へより良いサービス提供が行えるよう努めた。

- ・児童・障害者福祉施設等レクリエーション研修
- ・ソーシャルワーク研修
- ・障害者（児）福祉施設アドバンスコース
- ・サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修
- ・カウンセリング技法研修
- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース）
- ・障害者虐待防止権利擁護研修（管理者コース・マネージャーコース）
- ・障害者(児)福祉施設基礎コース研修
- ・防疫と防災
- ・65歳問題を考える など

(内部研修)

- ・アンガーマネジメント研修
- ・障害の特性の理解と支援
- ・ソーシャルワーク研修

- ・ヒヤリハット事例への対応
- ・AED 講習会
- ・職員向け虐待研防止修会
- ・利用者向け虐待研防止修会
- ・感染症について

(7) 関係機関との連携

- ・相談支援事業所とのサービス担当者会議
- ・総合支援学校との連携
- ・下関市自立支援協議会(就労部会)、山口県障害福祉サービス協議会、山口県社会就労事業振興センター等の会議出席

(8) 実習生受入れ

- ・下関総合支援学校 高等部 4名

(9) 地域貢献活動

新型コロナウイルスの影響により中止(町内清掃)

(10) 広報誌「えのうら通信」

令和2年度は休刊

4. えのうら福祉工房 令和2年度重点事項の報告

・新規作業の開拓

新型コロナウイルスの影響により、自動車ハーネスの仕事が無くなった為、それに代わる室内作業として8月から(株)ほんぽの昆布の仕事をはじめた。また、市の指定喫煙場所が2か所だけになり灰皿清掃の収入が減るため、8月から大賀農園の田畑の草刈り、収穫作業をはじめた。

いずれの仕事も8月から始めたこともあり、灰皿清掃の減収分をカバーするまでには至らなかった。